

学科名	学年	授業のタイトル (科目名)	
工業専門課程 情報処理システム科	2	気象災害	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習	中西 秀夫	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
[実務経歴]			
<p>民間の気象会社で予報業務を23年担当。 企業向けの防災セミナーを担当。</p>			
単位数 (授業の回数)	時間数	配当時期	必修・選択
2 単位 (30 回)	60 時間	<input type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期 <input checked="" type="radio"/> 通年	<input type="radio"/> 必修 <input checked="" type="radio"/> 選択
[授業の目的・ねらい]			
気象災害とその情報を理解する。			
[授業全体の内容の概要]			
<p>①気象災害の種類 ②防災情報の種類</p>			
[授業終了時の達成課題(到達目標)]			
防災情報を正しく理解、そして発表する技術を身につける。			
[準備学習の具体的な内容]			
毎授業ごとに復習の有無の確認を行い、講義・実習を進める。授業終了時には、講義内容の確認と次回の授業内容を説明し、復習・予習ができるようにする。また、長期休みの時は、課題を実施する。			
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]	
使用テキスト プリント教材(日本コンピュータ専門学校)		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。	
参考文献 必要に応じて授業の中で紹介する。		評価基準 定期試験80%、平常点(出席、講義の参加度)20%とする。	
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1回	気象災害の概要		
2回	風害		
3回	大雨害		
4回	大雪害		
5回	雷害		

6回	ひょう害
7回	長雨害
8回	まとめと振り返り
9回	干害
10回	なだれ害
11回	融雪害
12回	着雪害
13回	落雪害
14回	乾燥害
15回	まとめと振り返り
16回	視程不良害
17回	冷害
18回	凍害
19回	霜害
20回	塩風害
21回	寒害
22回	まとめと振り返り
23回	日照不足害
24回	防災情報 注意報 警報 特別警報
25回	防災情報 気象情報
26回	防災情報 台風情報
27回	防災情報 自治体と共同で発表する情報
28回	防災情報 避難勧告・避難指示
29回	防災情報 警戒レベルについて
30回	まとめと振り返り